

東陽中学校区学校園から



茶屋町東幼稚園



茶屋町東幼稚園は、3歳児から5歳児の3年保育で預かり保育もしています。現在、156名の園児が通っており、『幼稚園大好き、先生大好き、友達大好き！』な子どもの姿をめざして頑張っています。地域の皆様の温かいご支援のおかげをもちまして、令和元年9月に念願の茶屋町小学校との複合施設と新園庭が完成し、新たな船出を始めました。広い園庭と新しい遊具に目を輝かせ、思いきり駆け回る子どもたちには、笑顔があふれています。また、複合施設の完成に伴い、茶屋町小学校がより身近になって親しみの気持ちも増えています。

今後も地域の皆様に愛される幼稚園となるように努めてまいりますので、温かいご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



新しい園庭は広くて楽しいよ！遊びに来てね！



豊洲保育園



小学生と秋あそび



本園は、昭和26年6月都窪郡豊洲村立豊洲保育園として開園し昭和27年4月倉敷市豊洲保育園となり本年、創立67周年を迎えます。

現在、園児（11ヵ月児～5歳児まで）138名で、穏やかで落ち着いた環境の中で、子どもたちは体を動かして遊んだり、友だちと触れ合ったりしながら伸び伸びと生活しています。また、地域の方々との交流や楽しい行事を経験する中で一人ひとりを丁寧に保育し、心豊かに育ててほしいと願っています。

そして、地域の皆様や保護者の方々のご協力をいただきながら子どもたちが「ほいくえんだいすき!!」と毎日笑顔で通える保育園でありたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

れんげつみ



お茶の先生と一緒に
お茶会ごっこ

クリスマス会



第50号 人権だより



ぬくもり



令和2年2月15日
倉敷市東陽中学校区
人権学習推進委員会
事務局 茶屋町公民館
(TEL) 086-428-1315

弁論の会「わたしのおもい」

すばらしい発表をありがとうございました 令和元年12月7日（土）



<発表者>

大西 咲都

（豊洲小学校6年）

藤原 愛結

（豊洲小学校6年）

寺崎 結衣

（茶屋町小学校6年）

三島 向葵

（茶屋町小学校6年）

澤田 倭花

（東陽中学校1年）

山本 彩月

（東陽中学校2年）

佐藤 豊行

（一般）

上村 昌平

（一般）

『世界中の人々は

みんな仲良くなれる』

『主張することの難しさ』

『戦争から学んだこと』

『虐待をなくしていくために』

『自分の短所』

『イジメについて』

『報道と人権』

『住み慣れた地域で

その人らしく』

<参加者のご感想>（抜粋）

どの方も自分の主張をはっきりと発表されてすばらしいと思いました。

相手を認め、思いやることのできる、いじめがなくなるのではないかと思います。「出来ることからやる」これから心に留めて過ごしていけたらと思います。

今日、発表してくれた子ども達の弁論を聴いて、しっかりとした考えを持っていることに感動しました。

マスコミがいろいろ報道していますが、体験している生の声を聴き、子ども達の思いや考えに対応した行動をしていかなければと思いました。



研修視察

島根原子力発電所 ほか 令和元年9月1日(日)

人権学習の研修視察で島根原子力発電所を視察しました。39名の参加がありました。

＜参加者のご感想＞（抜粋）

普段行く機会のない原発に連れて行っていただき、ありがとうございました。

原発については賛否あるかとは思いますが、実際に目のあたりにして事故の対応策の難しさが理解できました。特に何重もの安全対策を実施し、電源車やタービン車等の維持管理は、並大抵のことではないと思いました。

現場を見たことで、原発について改めて自分なりの方向性を見出したいと思います。



楽しみにしていた原子力発電所の見学を企画していただき、ありがとうございました。併せて松江市内の研修もできて大満足です。

発電所の見学では、福島原発事故後の安全基準の見直しと新安全基準に沿った工場設備の改修等、原発に対する安全対策の企業努力が感じられました。

原子力発電所は行くことがなかったので、学べるいい機会になりました。電力は必要だけど、原子力は怖い、危険だと思っていましたが、安全対策を何重にも考えて対策をしていることを知り、ほっとしました。

人権相談・行政相談

お気軽にご相談ください

茶屋町支所にて
毎月第2水曜日 9:00～11:00

児童・生徒による作品（絵画・書道・標語）を展示しました。

茶屋町小学校 作品

豊洲小学校 作品



第2回 人権教育講演会『江戸落語を愉しもう』

断の会 じゅげむ 会員 笑皆亭 〇〇 氏 令和元年11月16日(土)

＜参加者のご感想＞（抜粋）

楽しい講演をありがとうございました。懐かしい話を聴かせていただき、父母を思い出しました。大きなしぐさや早口言葉がすばしかったです。

心地良く聴かせてもらいました。すらすらと何回も言われ、自然と引き込まれました。ありがとうございました。落語が好きになれそうです。



渋い落語との説明でちょっとかしこまって見ていましたが、男女同県（権）から始まり、大笑いの連続。涙が出るほど笑ったのは久しぶり。これで物忘れ（認知）？も少しは治るかも。笑いは本当に誰にも迷惑をかけず、ストレス解消です。



人権週間

令和元年12月4日～11日

東陽中学校 作品



入選作品

